

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和6年9月】

■調査概要（データ対象期間：令和6年9月1日～9月30日）

○調査期間：令和6年9月30日～令和6年10月21日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査及び全会員対象のWeb景気動向調査アンケート

○回収状況：建設業18企業、製造業15企業、卸売業13企業、小売業20企業
飲食業9企業、サービス業32企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計107企業>

○調査項目：9月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

○判断の基準

	好調	やや好調	横ばい	やや低調	低調
DI値	DI ≥ 20	20 > DI > 5	5 ≥ DI ≥ ▲5	▲5 > DI > ▲20	▲20 ≥ DI

1. 業況判断

- 全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)はやや低調
前月(やや低調)から更に悪化(▲5.9→▲13.1)
- 全産業合計の水準DIはやや低調
前月(やや低調)から更に悪化(▲8.9→▲16.8)

	建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
業況DI	横ばい	やや好調	横ばい	低調	低調	横ばい
水準DI	やや好調	好調	低調	やや好調	低調	やや低調

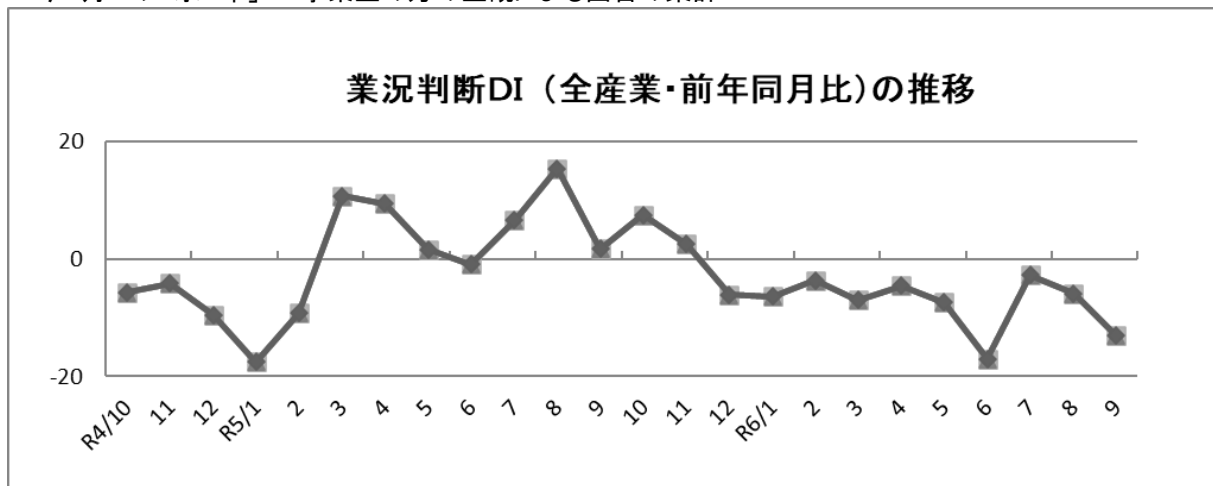
	業況[前年同月比]					今月の水準				
	好転%	不変%	悪化%	DI	前月との差	良い%	普通%	悪い%	DI	前月との差
合計	14.0 (18.6)	58.9 (56.9)	27.1 (24.5)	▲13.1 (▲5.9)	▲7.2	13.1 (18.6)	57.0 (53.9)	29.9 (27.5)	▲16.8 (▲8.9)	▲7.9
建設業	5.6 (5.9)	61.1 (58.8)	33.3 (35.3)	▲27.7 (▲29.4)	1.7	5.6 (5.9)	55.5 (47.0)	38.9 (47.1)	▲33.3 (▲41.2)	7.9
製造業	13.3 (12.5)	66.7 (50.0)	20.0 (37.5)	▲6.7 (▲25.0)	18.3	13.3 (12.5)	73.4 (50.0)	13.3 (37.5)	0.0 (▲25.0)	25.0
卸売業	15.4 (10.0)	46.1 (60.0)	38.5 (30.0)	▲23.1 (▲20.0)	▲3.1	0.0 (20.0)	53.8 (60.0)	46.2 (20.0)	▲46.2 (0.0)	▲46.2
小売業	20.0 (40.0)	50.0 (33.3)	30.0 (26.7)	▲10.0 (13.3)	▲23.3	25.0 (26.7)	50.0 (40.0)	25.0 (33.3)	0.0 (▲6.6)	6.6
飲食業	22.2 (54.5)	44.5 (36.4)	33.3 (9.1)	▲11.1 (45.4)	▲56.5	22.2 (45.5)	44.5 (45.4)	33.3 (9.1)	▲11.1 (36.4)	▲47.5
サービス業	12.5 (9.1)	68.7 (75.7)	18.8 (15.2)	▲6.3 (▲6.1)	▲0.2	12.5 (15.2)	59.4 (66.6)	28.1 (18.2)	▲15.6 (▲3.0)	▲12.6

※緑色の部分が前年同月と比較し増加した業種となります。

()内は前月データ

「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計

「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計



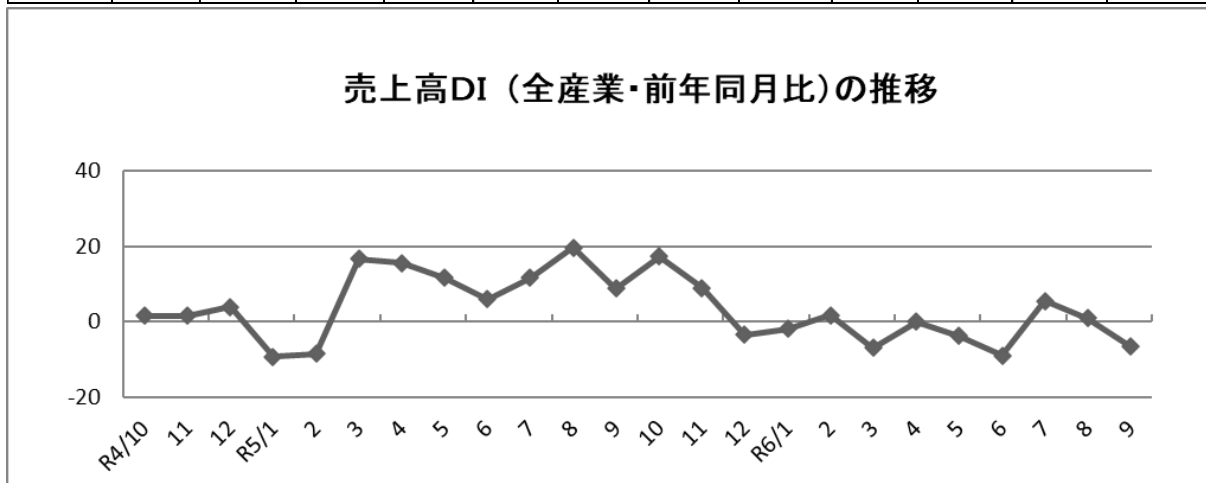
2. 売上高

- 全産業合計の売上高DIは、やや低調。
前月(横ばい)から悪化(1.0→▲6.5)

業種ごとの売上高DI(前年同月比ベース)					
建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
低調	やや低調	やや低調	横ばい	横ばい	横ばい

【対前年同月比全産業合計売上高DIの推移】

R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
8.8	17.3	9.0	▲3.5	▲1.8	1.8	▲6.9	0.0	▲3.7	▲8.9	5.5	1.0	▲6.5



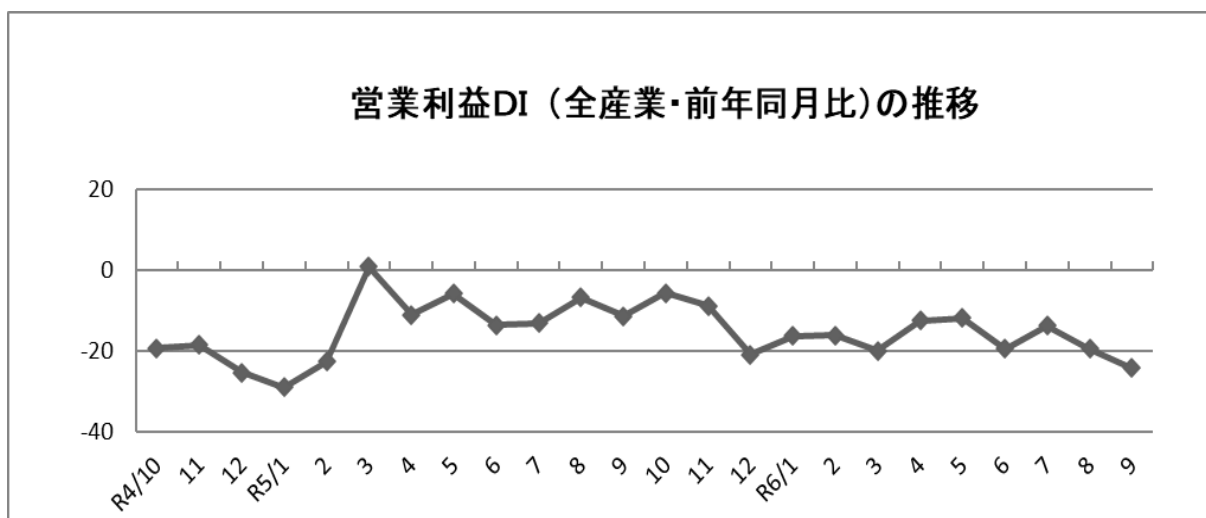
3. 営業利益

- 全産業合計の営業利益DIは低調。
前月(やや低調)から更に悪化(▲19.6→▲24.3)

業種ごとの営業利益DI(前年同月比ベース)					
建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
低調	やや低調	低調	低調	やや低調	やや低調

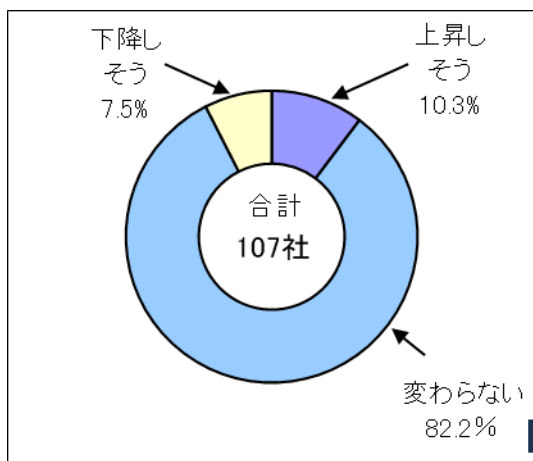
【対前年同月比全産業営業利益DIの推移】

R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
▲11.4	▲5.8	▲8.9	▲20.9	▲16.4	▲16.2	▲20.0	▲12.6	▲11.9	▲19.6	▲13.9	▲19.6	▲24.3

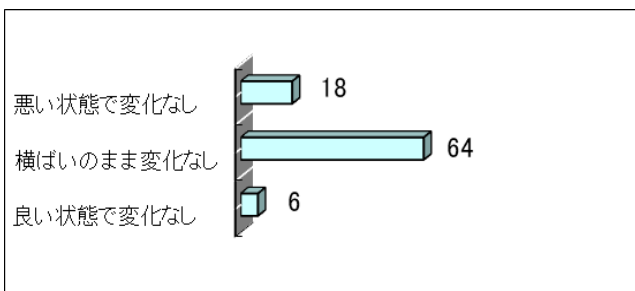


※9月分調査の同ページのパーセンテージが間違っていたため修正したページを同封いたします。

◇ 向こう3カ月の見通し ◇



◆ 『変わらない』の内訳 ◆



令和6年10月～令和6年12月の見通しDIは、
「上昇しそう」が増え(7.8%→10.3%)、「下降しそう」は減った。(10.8%→7.5%)

業種ごとの見通し DI					
建設業	製造業	卸売業	小売業	飲食業	サービス業
横ばい	やや好調	横ばい	やや低調	やや好調	やや好調

今後3ヶ月の見通しに対する各業種のコメント

【建設業】

「上昇しそう」 第一四半期売上UP粗利益は低調である

【製造業】

「上昇しそう」 秋からは繁忙期となるため
航空宇宙関連の受注が好調に推移する見込みのため
クリスマスに向けて最大の売上となるため

「下降しそう」 受注停滞と閑散期のため

【卸売業】

「上昇しそう」 製品値上げのため
秋の観光シーズンにより土産需要が増加するため
業績に影響のあるシステム障害があったが挽回するため

「下降しそう」 野菜の高騰や消費力低下のため
仕入先より値上げの価格改定の話が出ているため
消耗品材の動きが悪いため

【小売業】

「下降しそう」 観光シーズンが終わり観光客が減少するため
米など食料品の高騰で節約ムードとなっているため
数カ月前より購買力が落ちているため

【飲食業】

「上昇しそう」 秋の観光シーズンのため

【サービス業】

「上昇しそう」 回収見込みが立つことと顧客のIT投資増大によるため
引き続きインバウンド需要が伸びているため
予約が好調のため
繁忙期になるため

業種別景況

1. 建設業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
低調	低調	やや低調	低調	横ばい
前月比 1.7増加	前月比 13.5増加	前月比 12.1増加	前月比 7.9増加	前月比 11.8増加

【項目別DIの推移】

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	▲17.6	▲5.9	0.0	▲5.3	▲11.7	▲13.3	▲22.2	▲21.0	▲25.0	▲38.8	▲25.0	▲29.4	▲27.7
受注量	▲11.7	▲5.8	▲5.0	▲5.2	▲11.7	▲26.6	▲16.6	▲21.1	▲30.0	▲27.7	▲25.0	▲41.2	▲27.7
受注単価	5.9	5.9	5.0	5.3	5.9	0.0	0.0	0.0	5.0	▲5.6	▲6.2	▲17.6	▲5.5
営業利益	▲29.4	▲17.6	▲5.0	▲15.8	▲23.5	▲13.3	▲22.2	▲21.0	▲30.0	▲50.0	▲43.8	▲41.2	▲33.3
見通し	5.9	0.0	0.0	▲10.5	▲5.9	▲13.3	▲11.1	0.0	15.0	5.5	▲12.5	▲11.8	0.0

<経営者の目・見方・etc>

鉄工

・毎月で変わることはないと思うが、各社の感じている課題など調査したらいかがだろうか。

電気工事

・全国的に製作単価の下落が来年以降の物件で見られる。
・仕入れるものによっては順調な動きとは言えないものもある。流れが元に戻らないうちに動きを止めることがないことを願う。

総合建設

・衆議院議員の解散総選挙の結果が気になる。それによって来年度の公共工事予算や今年度の補正予算額に影響が出そうだ。

土木工事

・30年続くデフレ経済からの脱却のため、消費税廃止を望む。

2. 製造業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
やや低調	横ばい	やや好調	やや低調	やや好調
前月比 5.3増加	前月比 25.0増加	前月比 7.0増加	前月比 5.3増加	前月比 13.3増加

【項目別DIの推移】

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	6.7	11.1	5.9	▲ 23.5	11.8	6.2	▲ 31.5	▲ 5.9	5.0	▲ 22.2	38.9	▲ 18.7	▲ 13.4
受注量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 31.6	▲ 23.5	▲ 5.0	▲ 11.1	27.8	▲ 25.0	0.0
受注単価	▲ 6.7	16.7	0.0	0.0	23.5	12.5	▲ 10.5	11.7	15.0	11.1	33.3	6.3	13.3
営業利益	▲ 13.3	▲ 27.7	▲ 29.5	▲ 35.3	▲ 5.9	▲ 25.0	▲ 57.9	▲ 35.3	0.0	▲ 16.6	5.5	▲ 18.7	▲ 13.4
見通し	0.0	16.6	▲ 5.8	▲ 17.6	23.5	6.3	0.0	0.0	0.0	11.1	▲ 16.7	0.0	13.3

<経営者の目・見方・etc>

印刷

・物資高騰の影響を受ける状況において、印刷物発注の減少も見られる。部数、冊数を減らした場合、少なからず単価が上がる可能性が高いが、発注担当者ですらそういう理解に乏しいケースがある。バックヤードで作業してくれる制作担当者、工程ごとの製造担当者の賃金上昇に向けて全く動けない。

上水道用給水装置

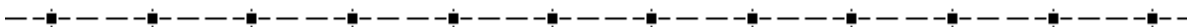
・会社にとって円高傾向は有り難い。

金属塗装

・銘板が少し上昇して受注が増えた。また、塗装の受注が減ってしまった。

菓子製造販売

・製菓業界は夏季の売上が低くなるが、温暖化で9月の気温が高いと厳しい店舗もあるのではないかと心配している。



3. 卸売業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
やや低調	やや低調	やや低調	低調	横ばい
前月比 7.7減少	前月比 15.4減少	前月比 5.4減少	前月比 6.1減少	前月比 変化なし

【項目別DIの推移】

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	▲ 8.3	▲ 9.1	0.0	21.5	▲ 15.4	0.0	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 6.7	▲ 38.5	23.1	0.0	▲ 7.7
販売客数	▲ 25.0	▲ 27.3	▲ 16.7	▲ 7.1	▲ 7.7	▲ 7.7	0.0	▲ 15.4	6.6	▲ 30.8	15.4	0.0	▲ 15.4
販売客単価	8.3	18.2	0.0	14.3	▲ 7.7	0.0	0.0	0.0	20.0	▲ 7.7	15.4	▲ 10.0	▲ 15.4
営業利益	▲ 16.7	▲ 27.2	▲ 25.0	▲ 7.1	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 7.7	▲ 7.7	0.0	▲ 46.2	▲ 15.4	▲ 40.0	▲ 46.1
見通し	▲ 33.3	▲ 18.2	0.0	▲ 7.2	▲ 23.1	0.0	▲ 7.7	15.4	0.0	▲ 30.8	▲ 23.1	0.0	0.0

<経営者の目・見方・etc>

自転車

・自転車の来年モデルが発表になったが価格は上昇している。若者の人材不足が続いている。宮崎県では自転車が最大25,000円、電動自転車が最大45,000円の補助があり盛況だった模様。長野県でも健康増進で行えないだろうか。

金属製品

・電炉メーカーの大幅値下げの発表があり、流通に戸惑いが出ている状況である。仕事量は依然パツとしない物量であり、どの業界も回復の兆しは不透明である。

魚介類

・新型コロナウイルス感染症の影響もなくなり、飲食店の新規オープンが多く見受けられる。

青果卸小売業

・青果店廃業の話題を耳にすることが増えてきた。市場も活気がないように感じる。

鋼材

・鋼材需要は低迷が続いている。鋼材が値下げとなるなど価格が安定していない。

4. 小売業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
横ばい	やや低調	やや好調	低調	やや低調
前月比 1.6減少	前月比 8.4減少	前月比 16.6増加	前月比 25.0減少	前月比 3.3増加

【項目別DIの推移】

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	▲ 15.0	14.3	▲ 16.7	10.6	0.0	9.1	19.1	6.6	▲ 16.0	18.8	▲ 6.2	6.6	5.0
販売客数	▲ 20.0	9.6	▲ 5.6	0.0	5.5	9.1	0.0	0.0	▲ 16.0	6.2	▲ 18.7	▲ 6.6	▲ 15.0
販売客単価	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 5.6	0.0	▲ 5.6	9.1	19.1	20.0	▲ 12.0	12.5	▲ 6.2	▲ 6.6	10.0
営業利益	▲ 30.0	▲ 14.3	▲ 22.2	▲ 15.8	▲ 22.2	▲ 18.2	▲ 19.0	6.7	▲ 24.0	0.0	▲ 31.2	0.0	▲ 25.0
見通し	0.0	▲ 19.0	▲ 5.6	▲ 21.1	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 12.5	▲ 13.3	▲ 10.0

<経営者の目・見方・etc>

洋菓子店

- ・9月に入った途端、秋商品がよく売れるようになった。大きな波はなかったが、前年より売上は良い数字だった。
- ・菓子業界は残暑が長引き悪いと思う。食料品の値上げが続き、今後期待できない。

印章

- ・二度の三連休以外の日も観光客が多く訪れていたが、いかんせん残暑が厳しかった。観光の方はほぼキャッシュレス決済でお支払いをしていくようになった。

印章・刃物研ぎ

- ・ゲストハウスが近隣に多数存在しているようだが、収容人数と稼働率が気になる。

生鮮食品

- ・月初めはあまり動かないと思ったが、敬老の日、秋分の日と連休になり後半まで良かった。松本市内道路事情が悪く車が動かない。

パン

- ・他県から観光客がたくさん来ていると感じる。ネットで調べて来店される方が多い。リンゴデニッシュなど信州らしいメニューに目を引かれる方が多い印象だった。

化粧品

- ・気候の温暖化による四季の変化が商品のあり方、売り方に影響がある。

5. 飲食業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
横ばい	やや低調	好調	低調	やや好調
前月比 45.4減少	前月比 56.5減少	前月比 4.0増加	前月比 22.2減少	前月比 2.0増加

【項目別DIの推移】

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	64.3	64.3	50.0	0.0	7.7	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0	33.3	16.7	45.4	0.0
販売客数	57.2	50.0	20.0	15.4	7.7	8.4	▲ 25.0	0.0	▲ 6.2	16.7	25.0	45.4	▲ 11.1
販売客単価	7.1	28.6	10.0	7.7	0.0	0.0	25.0	7.7	6.3	16.6	16.7	18.2	22.2
営業利益	0.0	14.3	▲ 10.0	▲ 53.8	▲ 15.4	▲ 16.7	▲ 41.6	▲ 15.4	▲ 37.5	▲ 8.3	▲ 8.4	0.0	▲ 22.2
見通し	7.2	14.3	0.0	▲ 7.7	7.7	33.3	16.7	7.7	25.0	25.0	16.7	9.1	11.1

<経営者の目・見方・e t c>

- | | |
|-----------------------------------|--|
| <p>寿司</p> <p>中華料理</p> <p>郷土料理</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・秋の気配が全くなかった。例年9月は暇な時期とされているが今年は、暇と感じる日がほとんどなかった。真夏のような天候のお陰である。ただ、物価高の影響で利益が少ない。 ・三連休が二週に渡りあり、県外から多くのお客様が来て秋の観光シーズンが到来した感じがする。松本城で行われたビアフェスも大いに盛り上がった。ゴールデンウイークから今日まで途切れることなく観光客がいつもたくさんいるように感じる。 ・インバウンド増加の影響か外国人旅行客が増えている。家族連れやグループ客も増えているが、反対に職場の宴会などは減っている。 |
|-----------------------------------|--|

6. サービス業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヵ月の見通し
横ばい	やや低調	横ばい	やや低調	やや好調
前月比 9.1減少	前月比 3.3減少	前月比 18.1減少	前月比 2.6増加	前月比 6.3増加

【項目別DIの推移】

	R5年9月	10月	11月	12月	R6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	19.4	22.5	20.0	▲ 12.1	▲ 3.1	3.0	9.4	17.7	10.5	▲ 2.9	▲ 3.0	9.1	0.0
販売客数	11.1	12.5	8.6	▲ 18.1	▲ 3.2	9.1	12.5	14.7	10.5	0.0	▲ 6.0	▲ 3.0	▲ 6.3
販売客単価	19.4	27.5	11.4	▲ 3.1	0.0	6.0	18.8	17.6	23.6	5.7	24.3	21.2	3.1
営業利益	5.5	12.5	11.4	▲ 12.1	▲ 12.5	▲ 9.1	6.3	▲ 5.9	5.3	▲ 8.6	▲ 3.0	▲ 18.2	▲ 15.6
見通し	8.3	2.5	0.0	▲ 6.1	▲ 6.3	9.1	9.3	3.0	13.2	8.5	9.1	0.0	6.3

<経営者の目・見方・etc>

観光旅館

- ・台風の発生と悪天候によりキャンセルが続出してしまった。被害を受けられた地方の方には申し訳ないが、もっと地域別に正確な予報を望む。実際には雨もたいして降らず風も吹かなかった。暑さが影響してか、山々の紅葉の進み具合が遅く、色もあまり良くない。これからどうなるのか不安である。

温泉旅館

- ・全般的に動きが最多で、観光もビジネスも活発化している。残念なのはタクシーやレンタカーが不足していることである。食材の仕入も高値で困っている。

ホテル

- ・インバウンドも含め宿泊は単価、稼働率ともに好調であった。会議、宴会の需要もコロナ禍前に戻った。松本周辺の動きも同様であると思う。

ホームクリーニング・
リネンサプライ業

- ・安定した経営状況であった。松本に観光で来る人々の出身県や国について調査してほしい。

ソフトウェア

- ・IT関連は技術的な進歩と、顧客ビジネスの拡大の速さにより、恒常的な投資が必要になっている。それに合わせて業界も停滞することなく推移しているように見えるが、人材不足の点で不安が大きい。

測量・設計

- ・10月27日衆議院選挙での政権交代の行方が気になる。

機械設計

- ・新しいテーマが出てこない。中信地区は特に厳しい。

リラクゼーション

- ・消費意欲が増してきているように感じる。

7. 任意調査

【問】事業環境が目覚ましく変化しているなか、観光業では人手不足・材料の高騰、製造業では、人手不足・円相場の影響等、各業種に様々な経営課題が出てきていますが、今後、求める支援や要望がありましたらご記入ください。

土木工事	・能登の災害復旧の大幅な遅れを見ても、政府が積極財政に舵を切ることが必要
印刷	・オフセット印刷の印刷機オペレーターは特殊技能であるにもかかわらず、業界全体のデフレ傾向やDX、SDGsゼロカーボンによる実受注数の激減により売上も収益も不十分である。結果として賃金上昇に歯止めをかけることになってしまっている。これにより、求人においても求職者が満足いく賃金に至らないため他業種へ人材が流出し、いつまでたっても人手不足が解消しない。こうした状況を踏まえ、不況業種の特殊技能職種への賃金補助の支援を行ってほしい。
魚介類	・人材不足の中、しっかりした人材紹介会社があれば良い。特にパート、スキマ時間活用
自転車	・人件費の上昇支援。休日を増やした企業支援。講習会、展示会参加補助。ホームページリニューアル補助。店舗看板、店舗用販促物等備品補助
印章 化粧品	・観光客向けの新規事業や設備投資に対する補助金があればありがたい。 ・人手不足とともに人材育成が重要。特に店頭販売における人材の知識、技術、応対の育成に時間がかかる。
寿司 リラクゼーション ホームクリーニング・ リネンサプライ業	・原材料の値上がりがこれ以上続くと商売の存続が難しくなってしまう。 ・助成金の活用方法についての個別相談 ・松本市内におけるホテル又はベッド数の適正数を知りたい。
観光旅館	・人手不足が課題。こちらがシーズンの時、シーズンオフの企業とのマッチングがあればいいかと思う。
ホテル パン	・補助金等の情報を細かく知らせてほしい。 ・日々の仕事にいっぱいいっぱい考える余裕がないが、節税対策など指導してほしい。また、ITに疎いので、今まで通り記帳機械化の委託をお願いしたい。
菓子製造販売	・生産性向上や働き方改革等、根本的な構造改革に必要性を感じている。助言をいただけると嬉しい。

